

8月の園だより

見上げる空に大きな入道雲が広がり、いよいよ本格的な夏の到来。

7月は未満児クラスの子どもたちが、一足お先に水遊びを満喫！「お水気持ちいい〜！」とキャッキヤと弾ける笑顔を見せてくれていました。そしていよいよ8月からは、以上児クラスでもプール遊びが再開します。

「早くプールに入りたいな！」「大きなプールで泳ぐんだ！」と、心待ちにしていた子どもたち。元気な水しぶきと歓声が園庭いっぱいに広がる、賑やかな8月になりそうです。

8月は暑さが一層厳しくなる季節でもあります。こまめな水分補給や適度な休息を取り入れ、熱中症対策を徹底しながら、安全第一で夏ならではの体験をたっぷり楽しんでいきたいと思います。

ご家庭でも毎日の体調管理等にご協力をお願いいたします。



8月の予定

5日(水)	ばら組野外保育	20・21(木・金)	発育測定
5日(水)	パンの日	21日(金)	誕生会
7日(金)	さくら組野外保育	26日(木)	うめ組野外保育
13～15日	自由保育期間	28・29(金・土)	お泊り保育



子育て講演会のご案内

★9月5日(土)は子育て講演会を開催します。

詳しい概要は別添をご確認ください。



祖父母参観のご案内

★9月12日(土)は祖父母参観を予定しております。

日頃お世話になっているおじいちゃん、おばあちゃん方のための思い出づくりの機会として、「祖父母参観」を予定しております。

※本行事は祖父母の皆様限定の開催となります。

保護者の皆様におかれましては、ぜひお声掛けをよろしくお願いいたします。

詳細につきましては後日改めてお知らせいたします。





ご家庭で楽しく過ごすために～夏の安全対策～

お盆休みなどでご家庭で過ごされる時間も多くなる時期です。帰省やレジャーのご予定があるご家庭も多いのではないのでしょうか。

家族で過ごす楽しい時間が増える一方で、この時期は「水の事故」や「車内・屋外での熱中症」などの危険も高まります。

- ・水遊び（海・川・プール）：「浅い場所」「少しの間」でも絶対に子どもから目を離さないようにしましょう。ライフジャケットの着用も安心です。
- ・車・屋外での過ごし方：「車内への置き去り」は短時間でも厳禁です。移動中やレジャー中も、こまめな水分・塩分補給を忘れずに。
- ・おうちでの過ごし方：ベランダの足場になるようなものを退かし、転落事故を防ぎましょう。

「まあ大丈夫」の油断をなくし、安全第一で素敵な夏の思い出をたくさん作ってくださいね。

休み明け、元気に登園してくる子どもたちに会えるのを楽しみにしています！



第5回目のコラムは♡



「自分のやりたいことをやってみる（選択する）」



「今日はこれで遊ぶ！」「次はあれをやってみたい！」

園では毎日、子どもたちが好きな遊びを選んで夢中で過ごしています。

一見すると「ただ遊んでいるだけ」に見えるかもしれませんが、実はこれ、

「自分の心（欲望や関心）と向き合い、自分で決断する」という素晴らしい挑戦の最中です。

現代の幼児教育研究では「自分の興味（やりたい意欲）から出発して、やりたいことを追求するプロセス」こそが、主体性や思考力を一番高めると示されています。

当園では、「みんな一斉に同じこと」を強制するのではなく、「今何がやりたいのかな？」と一人一人の意欲に耳を傾ける保育者でありたいと考えています。

自分のやりたいことをやって得た満足感こそが、子どもたちの「主体性」を強く育んでいきます。



熊本地震における迅速なお迎えへのお礼と、今後の防災対応について

日頃より園の運営にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

また、先日の「熊本地震」により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

地震発生時、園では直ちに子どもたちの安全を確保し、全員無事を確認いたしました。その後の緊急のお迎えでは、保護者の皆様の迅速かつ冷静なご対応のおかげで、混乱なく安全にお引き渡しを完了することができました。お忙しい中ご協力いただき、職員一同深く感謝申し上げます。

迅速なお迎えが必要な理由

災害時、私たちが最も優先するのは「子どもたちの命と心を守ること」です。災害直後の園内では、余震への警戒はもちろんのこと、大きな揺れや警報音によって子どもたちが大きな不安やストレスを感じています。信頼できるご家族の元へ一刻も早く戻ることが、子どもたちの心理的な安心に何よりつながります。また、災害時は時間の経過とともに交通網の麻痺や通信障害、二次災害（火災や建物の倒壊等）のリスクが高まります。安全が確保されているうちに引き渡しを完了させることは、お子様だけでなく、お迎えに来られる保護者の皆様の安全を守るためにも極めて重要です。

ご家庭へのお願い

園でも今回の経験を踏まえ、備蓄や訓練など防災体制を再点検してまいります。ご家庭におかれましても、以下の点について改めてご確認をお願いいたします。

- ・緊急連絡先・引き渡し人情報の確認と更新
- ・災害発生時のお迎え方法や連絡がつかない際の家族間ルール共有
- ・今後も園とご家庭で連携を図り、子どもたちの安全を最優先に守ってまいります。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます



保育参加ありがとうございました

先日は、当園として初となる「保育参観から保育参加へ」の取り組みにご協力いただき、誠にありがとうございました！

これまで「子どもの主体性」について園だよりなどの文書でお伝えしてまいりましたが、「具体的にどういうことだろう？」と疑問に感じられていた方も多かったかと思います。各世帯1名というご参加の制限がある中、日程の調整やお時間を作ってくださいたご家庭の皆様に、心より感謝申し上げます。

今回、実際に子どもたちの輪に入っていたいただいたことで、私たちが大切にしている「自分で考え、選んで遊ぶ姿」をリアルに体感していただけたのではないかと感じております。

職員一同が感動した「新しい風」

初めての取り組みということもあり、「子どもたちの邪魔にならないかな」「何をするんだろう」と抵抗や戸惑いを感じられた方もいらっしゃるかと思います。全世帯数から見ると参加人数としてはまだ伸びしろのあるスタートでしたが、ご参加いただいた皆様の温かいご協力のおかげで、非常に濃密で素晴らしい時間となりました。

また、今回は各世帯1名という限られた枠組みの中で、普段なかなか平日の保育の様子をご覧いただく機会が少ないお父様方の参加も大変多く、職員一同とても驚くと同時に嬉しい発見となりました。

ご参加いただいたお母様・お父様が現場で子どもたちと一緒に全力で遊び、温かく見守ってくださる姿は本当に頼もしく、ご家庭でのご協力とご理解があってこそその温かい時間だったと実感しております。

保護者の皆様から届いた「生の声」

ご参加いただいた皆様から寄せられたアンケートには、私たちの胸が熱くなるようなお言葉がたくさん詰まっていました。今回は、了承をいただいた方の感想を別添にて一部ご紹介させていただきます。

次回に向けて

「見る」参観から、「共に体験する」参加へ。

子どもたちは、お父さんやお母さんが自分の世界に入ってきてくれたこと、そして自分の「好き」を共有できたことに溢れんばかりの笑顔を見せてくれました。

今回ご参加くださった方はもちろん、「今回は都合がつかなかった」という方も、ぜひ次回の「第2弾」で子どもたちの生き生きとした世界を体験しにいらしてください！

改めまして、温かいご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。これからもご家庭と手を取り合いながら、子どもたちの主体性を育ててまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

